

平成31年度 会派調査研究報告書

(視察先1箇所につき1枚)

| | |
|---------|-----------------------------------|
| 会 派 名 | 石合祐太 |
| 事 業 名 | 先進地視察「子育て環境日本一の実現に向けた取り組みについて」 |
| 事 業 区 分 | ① 研究研修 ② 調 査 |

1 上田市での課題と研修・調査の目的

子育て環境が整い、全国的な注目を集める松江市の取り組みに学ぶ中で上田市の子育て環境のさらなる充実を図る目的で調査を行った。

子どもを中心に据え、地域住民の皆様、地元企業の協力体制をどのように構築するか、特別な支援が必要なお子さんへの対応をどう図るかを今後の市政への提言において役立ててまいりたい。

2 実施概要

| | | |
|------------------------------------|------|--------------|
| 実施日時 | 視察先 | 島根県松江市 |
| 令和 元年 7月 16日(火) 午後 16時 ~ 17時30分 | 担当部局 | 松江市教育委員会子育て課 |

報告内容（感想、市政に活かせること）

1. 視察先の概要

人口 203,787人 面積 572.99km² 置市 1889年4月1日
発足 2005年3月31日

2. 視察先の特徴

県の東部、山陰のほぼ中央に位置し、宍道湖、中海、日本海という水域に囲まれた水郷都市。古代出雲文化圏にあり、奈良時代には国庁や国分寺がおかれ、江戸時代には堀尾氏3代、京極氏1代、松平氏10代が治めた城下町。小泉八雲の文筆を通じて世界的に著名であることから、国の「松江国際文化観光都市建設法」による国際観光文化都市となっている。



3. 視察事項について

(1) 松江市子ども・子育て支援事業計画の基本理念は「みんなで子どもを育む子育て環境日本一・松江」としているが、子育て環境の充実に取り組むこととなった経過について

平成24年8月に成立した「子ども・子育て関連3法」に基づき、幼児期の学校教育と保育、地域の子育て支援の量の拡充や質の向上を進めていく「子ども・子育て支援新制度」が平成27年4月1日から本格施行。平成22年3月に策定した「松江市次世代育成支援行動計画（後期計画）」を継承し、良質で適切な子ども・子育て支援を総合的かつ効率的に提供できるよう松江市の実情に応

じた計画を策定したものである。

(2) 子ども・子育て支援事業の取り組みについて

①子どものための教育・保育の充実

- ・質の高い就学前の保育・教育の提供

ポイント：平成 29 年度に年度途中の待機児童解消をめざし、私立保育所に保育士確保のための経費を助成。保育・教育の質の向上に向け、保育所・幼稚園への訪問指導や職員研修実施等の実施。

- ・就学前教育から小学校教育への円滑な接続の促進

ポイント：市内の保育所・幼稚園で同じ視点をもって子どもを保育・教育を行い幼児期の教育の充実と小学校への滑らかな接続に向け「松江市保幼小接続カリキュラム」を実践

- ・地域の教育力を活かした学校教育の充実

ポイント：小中一貫教育（学園教育）を推進

- ・人権教育、乳幼児期からの心と体を育む体験、食育・歯育推進、青少年育成

②子どものための保護者支援

子どもを安心して産み育てられる環境づくりをし、子どもの健やかな育ちにつながるよう保護者支援の取り組み

- ・親子の健康づくり

ポイント：妊産婦検診を 14 回助成。母子保健コーディネーターによるサービス調整、総合的な相談対応。

- ・地域子ども・子育て支援事業の充実

ポイント：利用者支援事業を実施し、充実した支援事業を保護者が円滑に利用できるよう取り組み。利用についての相談に応じる。児童の健全育成や保護者の就労支援のため児童クラブの時間延長など必要なサービスを提供。

- ・特別な支援が必要な子どもに対する支援体制の充実

ポイント：教育・保健・福祉・医療などの関係機関が情報共有し合い、乳幼児期から青年期に向けた一貫した早期発見・相談支援体制の充実

- ・家庭・地域の子育て力向上、保護者負担軽減、結婚対策充実

③子どものための安全・安心の環境づくり

- ・子どもの安心して育つ権利を尊重した環境づくり

ポイント：子どもの人権尊重の啓発、児童虐待防止、ひとり親家庭の自立支援の推進、貧困世帯の子どもへの対応、子どもを犯罪から守るための活動

④地域や企業とともに取り組む子育て環境の向上

- ・行政に加え、地域・企業を含め社会全体で子育て中の保護者に寄り添い支える。

ポイント：子ども・子育てを地域で支える取り組み、遊び場・生活環境の充実、企業における仕事と子育ての両立への支援、男性の育児参加促進

(3) 子ども・子育て支援事業に対する市民の受けとめについて

平成30年12月から31年1月にかけて実施した「子ども子育て支援制度ニーズ調査」において、4000人の保護者対象に調査票を送付し、回答があった2052件の内容は次のもの。(回答率51.3%)

多い意見は、児童クラブについて「更なる充実を望む」、「保育所と同じように時間延長を」、「民間と公設の児童クラブの料金差を埋める支援策を取ってほしい」など。

また、施策への評価としては「医療費無料は助かる」、「子育て支援は他市と比べ充実している」、「就学前支援が松江市は充実している」ということなどが出されている。

(4) 事業の課題

幼児教育期における被認知能力の向上をはかること。

これまでは保護者支援を中心とする施策に取り組んできたが、今後はより子どもの視点での子育て支援を重視していくことが求められている。

(5) 発達障がいのお子さんへの対応

平成23年4月1日に松江市発達・教育相談支援センター『エスコ』を立ち上げた。

就学前相談が多いことから、早期段階からの取り組みに努めている。

幼稚園等へエスコ職員が行き、相談等支援。困り感を取り除くことを意識。

所長「保護者の困りごと、保育者の困りごと、子どもの困りごと、それぞれの視点が必要」

乳幼児期から小中学校の学齢期、そして青年期に向けて、切れ目のない支援をめざしている。また、保護者の相談や在籍園(所)及び学校に対しての専門巡回相談や就学相談などを実施している。

【まとめ(上田市に活かせること)】

就学前など早期段階での支援策が充実しており、子育て世代の移住定住にも魅力があることが分かった。一方で、ニーズ調査にも「子どもが大きくなるにつれ、支援が薄くなっていく気がする。中学生以降の方がお金がかかり、そこへの支援もお願いしたい」という指摘や「保育所整備や待機児童の解消も大切だが、親と子が安心して子育てできる環境づくりが本質。市独自でさらに子どものためになる施策を打ち出すことが必要」という意見も見られた。

子育て・子育ての視点での施策を展開している上田市においても、具体的取組において松江市の取り組みを参考にしつつ、さらなる施策の充実を求めたい。

また、上田市の発達相談センターにあたる松江市発達・教育相談支援センター『エスコ』は教育委員会部局で教育に関わる関係者との連携で切れ目のない支援をめざすとしている。

上田市の現状を踏まえる中で、より悩みを抱えたお子さんやご家族の利益にかなう方向を模索していきたい。